

「自分のなかの世界が広がった旅」

七飯高等学校2年 八木澤 歩

私が海外研修に参加したいと思ったきっかけは昨年度の海外研修の発表を聴き、全身に鳥肌がたつほど感動したからです。

スライドショーで様々な写真を見ていくなかで自分もこんな体験を自分の肌で体験したい！！そしてその体験をよりリアルに皆さんに届けたい！！と思いました。二年生になり面接を受け合格したときはすごくすごく嬉しかったです。自分もあんな体験ができるんだという喜びでいっぱいでした。

行くまでは何回かの研修を重ねてコンコードの歴史や英会話の練習、入国審査の練習をしました。研修をしていくなかで自分は本当にやっていけるのかと不安がでてきました。ですが反対にスケジュールやホームステイ先のことを知ることで楽しみも増えていきました。ホストファミリーが発表されたときのあのわくわくドキドキと全身の鳥肌は忘れられません。

出発の日、あまり緊張はなく実感も湧かないまま函館空港に向かいました。空港内で最後のミーティングをし、集合写真を撮り、羽田空港までとびました。羽田空港につきご飯を食べ成田空港に行きました。成田空港は初めてだったので少し戸惑いながらも荷物を預け、空港内を見てまわりました。予定の出発時間より一時間ほど遅れ、ボストン空港にむかい飛び立ちました。これからアメリカに行くという実感はあまりなく、初めての機内食と機内で一晩を過ごすことにわくわくしながら乗りました。

ボストン空港に到着し終始緊張し戸惑いながら入国審査を受け、ロビーに出たところには“コンコードへようこそ”とかいた横断幕があり、たくさんの方が迎えてくれていてとても嬉しかったです。空港からコンコードに向かうのにスクールバスに乗らせてもらいました。初めてのスクールバスは想像通りとてもかわいくてテンションが上がりました。コンコードに着き美術館でホストファミリーと会いご飯をたべそれぞれの家に向かいました。緊張でガチガチでしたが優しく向かい入れてくれて安心しました。その夜はいつもと違う環境に落ち着かずなかなか寝られませんでした。

二日目、カーライル高校に朝七時ごろに登校しました。学校についても外はまだ真っ暗で授業中にだんだん日が昇っていくという初めての経験をしました。

生徒たちは朝から活動的で元気で驚きました。授業は黒板を使わずにほぼプロジェクトで行っていて、生徒ほとんどが積極的に発言をしていて日本との違いをいたるところで感じました。

校内はとても広く日本の大学みたい感じでした。ですが、大きなカフェテリアがあったりロッカーや壁にたくさんのユニークな落書きがあったり日本と違う部分もたくさんあり、文化の違いというのを目の当たりにできました。

三日目、みんなでセーラム市とフレンドシップ号見学に行きました。セーラム市の歴史を学びながら市内を散策しました。建物や看板はどれもおしゃれでどこを写真とっても絵になるので夢中になって取り続けていました。その後家に帰ってからハロウィンにむけてかぼちゃを切り抜いてランタンを作りました。こんなに大きなかぼちゃで作ったのは初めてだったのでうきうきしながらそれぞれ自分で考えたデザインをほっていきました。ホストファミリーは毎年つくっていたので手際よく掘り進めていて私が作り終えるころにはふたつもつくっていて驚きました。

四日目、みんなでオーチャードハウスを見学しました。オーチャードハウスは若草物語の作者であるルイザ・メイ・オルコットさんが住んでいたお家でとてもきれいで当時のまま残されているようには見えませんでした。その後お家に帰ってハロウィンの仮装の準備をしてみんなで集まりご飯を食べて着替えたり帽子をかぶったりして近所のお家を回って歩きました。日本ではない風習なのでどんな感じなのだろうとわくわくしながら歩いていたら小学生くらいの男の子が突然驚かして来たり赤ちゃんまで仮装していたりしてとてもユニークで楽しかったです。

五日目、六日目はみんなで一緒に水族館や映画館、美術館、ボーリング、ショッピングなどに連れていってもらいました。どれも楽しかったです。映画は一時間もたたないで終わることやボーリングの球が片手で持てるくらいの小さいサイズだったり日本と違うところがあり新鮮でした。

七日目、ハーバード大学に行き、コスコで買い物をしました。ハーバード大学はどこもとてつもない広さで圧倒されました。銅像の足にも触れたのでよかったです。コスコは大きなショッピングセンターで食料品から日用品、雑貨までなんでもそろっていて建物やカートやお菓子などすべてがビックサイズで日本では珍しいので圧巻でした。

八日目、朝学校に集まりお別れでした。すごく短い時間でしたがいろいろな経験をさせていただいたこと、家族のような温かい気持ちで接してくれたことにとっても感謝の気持ちでいっぱいになりました。最後にホストファミリーと握手したりハグしたり写真をとったりしお別れしました。その後ボストン市内を観光しホテルに向かいました。

翌日飛行機に乗り日本に帰りました。

この11日間の体験は私のなかでとても貴重な体験になりました。まさか自分が高校生のうちに外国に行けるなんて思ってもいなかったので新しい世界を体験できたことにものすごく喜びを感じています。もっといろんな世界を知り、体験したいなと思いました。

最後にこの度はこのような素晴らしい機会をつくっていただきありがとうございました。



成田空港で出発前



ボストン空港のロビーにて横断幕



ユニークなランタンの完成品